

治療8年目にしてクラススイッチが起こった方の手記。  
漢方と鍼灸のおかげで、ほぼ普通に日常生活を送りながら治療を続けています。

## 「リウマチ中間手記」 仁木 淳子 63歳

2015年3月23日

私が松本先生にお会いしたのは平成18年9月1日。夫と共に松本医院を訪れました。前日、夫がパソコンで「リウマチ 治る」と検索し、松本先生に出会いました。夫は先生の理論を読み、「これだ、明日行こう。」と言い、寝ている私の枕元に理論がプリントされた紙を置きました。私は一度だけ目を通しました。難しすぎましたが「治る」という文字と夫の勢いに乗せられて、翌日車に向かいました。先生の理論を全く理解していませんでしたので、先生や当時の看護婦さんや鍼の織田先生には強く叱られました。それでも先生のはっきりとした力強いお言葉に、夫も私も続けてみようという気持ちになり、それから丸8年と6ヶ月。ようやく中間手記を書く段階に入りました。去年の12月末の採血で、I g G関連の数値が全て正常になり、痒みも両足のすねに強く出ているので、「クラススイッチした。手記書いて。」と仰って頂いたのです。確かに最初の頃に比べると今はほぼ普通に日常生活をこなすことができているのは有難いことです。

他の採血の結果は、血沈19、CRP 0.52で足首、膝、手首にまだ腫れ、しこりがあります。左足指は外反母趾、右足指は関節が少し曲がっています。手の指はほとんど真っ直ぐです。最初の頃は腫れて熱を持ち、堅いしこりがありましたが、徐々に熱も取れ、しこりも柔らかくなってきています。

リンパ球は夏から20台が続いています。免疫力を示すリンパ球を下げない様に暮らすには、私の場合、難しいものがあります。色々な方法を試して、頭ではわかっているつもりが、実際の場面では数々の失敗を重ねてきました。でも最近、「あ、リラックスしているな。楽しいな。」と心から湧き上がってくる瞬間が増えてきました。ストレスを回避する術を会得しつつあります。これも松本先生はもちろんのこと、鍼の早田先生からも様々に助言頂いたことが大きいと思っています。ご子息の有史先生からも「ともかく、ゆったりと」とお声を掛けて頂いております。治療の一つのお灸は絶大です。もちろん免疫が上がるのですが、腫れにもよく効きます。手足の指には速効性があると思います。朝起きた時に指に少しこわばりや腫れがあると思う時、お灸をすると楽になります。最初の頃はやり方がよくわかりませんでした。とにかくやりました。自分でするので、用事があつたり疲れしたりしてできないでいると、膝などはギ

スギスした感じがあるのですが、お灸を据えると油を差すかのごとく楽になります。左足小指外側にたこができたのを、大きなお灸を何度もして取ったこともあります。いつも初めはとても熱いのですが、50、100 と続けると熱さに慣れてくるのが不思議です。

#### <8年間の経過>

|       |      |     |      |    |     |      |       |      |      |
|-------|------|-----|------|----|-----|------|-------|------|------|
| 平成 18 | 9/1  | CRP | 6.83 | 血沈 | 88  | MMP3 | 822.8 | リンパ球 | 23.9 |
| 平成 18 | 9/15 |     | 4.75 |    | 115 |      | 152.0 |      | 24.1 |
| 平成 19 | 3/9  |     | 0.48 |    | 26  |      | 278.2 |      | 26.1 |

漢方治療を始めて、すぐ大きくリバウンドして体が動かなくなりましたが、1～2ヶ月で数値がよくなりはじめ、半年後には炎症反応が今と変わらない値となり1年程経てば治るのではないかと淡い期待を抱きました。その後、数値は上下し、アトピーも少しはでるのですが、すぐに消えてしまうという状態を繰り返しました。

|       |      |     |      |    |    |      |       |      |      |
|-------|------|-----|------|----|----|------|-------|------|------|
| 平成 19 | 8/31 | CRP | 0.86 | 血沈 | 20 | MMP3 | 251.9 | リンパ球 | 29.4 |
| 平成 20 | 9/26 |     | 2.16 |    | 35 |      | 421.8 |      | 28.4 |
| 平成 21 | 9/4  |     | 1.04 |    | 45 |      | 667.8 |      | 31.1 |
| 平成 22 | 9/21 |     | 2.13 |    | 64 |      | 946.8 |      | 26.7 |

この頃、抗ヘルペス薬を飲むと、それまでの疲労感が無くなったのには驚きました。家の中では一つの事をすると休憩しないと次の事が出来なかったのが続けて出来るようになり、外出時には1カ所しか行けなかったのが午前も午後も続いて用事を済ますことが出来るようになりました。就寝中の背中の中うねるような軽い痛みもなくなり、たまにある肩こりも治ります。難病といわれる慢性疲労症候群の方がテレビに出ておられましたが、是非飲んでほしいと思います。抗ヘルペス薬が保険診療として認められないのは大いなる矛盾です。

|             |     |      |    |    |      |       |      |      |
|-------------|-----|------|----|----|------|-------|------|------|
| 平成 23 9/6   | CRP | 0.4  | 血沈 | 25 | MMP3 | 161.6 | リンパ球 | 37   |
| 平成 24 9/21  |     | 0.92 |    | 45 |      | —     |      | 30   |
| 平成 25 9/3   |     | 0.43 |    | 31 |      | —     |      | 32.9 |
| 平成 26 9/2   |     | 1.1  |    | 33 |      | —     |      | 29.1 |
| 平成 26 12/24 |     | 0.52 |    | 19 |      | —     |      | 22   |

8年間には、3人の孫の世話もできていて最近では旅行にも出かけており心身共にしっかりしてきています。冬場1月2月と気分が落ち込むことがありましたが、それも無くなりました。もし西洋薬を飲み続けていたら、免疫力が落ち続け、副作用に悩み、いずれ手術、そして将来、車椅子生活を送ることになっていくでしょう。

#### <松本先生を受診するまでの経緯、3年間>

平成15年11月、肩痛が始まり、平成16年3月腰首、坐骨辺りが痛くなり5月頃起き上がることができなくなりました。この間近くの内科や整体院に行き、5月21日に府立医大で診察を受けました。そこでは、「リウマチ性多発筋痛症かもしれない。今の所治す方法はないが、ステロイドを飲むと痛みは取れます。ただ、これだけの副作用があります。」と病名を一杯告げられました。今まで風邪を引くぐらいで重い病気を患ったことがなかったので、「ステロイドを飲んでこんなに一杯の病気になるのはいやだ。」と内心、思っていた所、「今、病室がいっぱいなので通院で治療しましょう。」ということで、薬をもらって帰ることになりました。不幸中の幸いでした。

数日、飲むかどうかとても悩みましたが、副作用の多さに対する恐怖が勝ち、別の整体院で鍼治療を受けることにしました。夏の盛り、カイロプラクティックにも通いました。この時点では私の考えは間違っていないかと思うと、残念ではありますが、誉めたい気分でもあります。しだいに体は柔らかいではきましたが、秋頃から膝そして足首が腫れだし、平成16年11月整形外科で検査の結果、ついに「リウマチ」とわかりました。やっと病名が判ったという無知な安堵感と一生治らない病気に罹ってしまったんだという気持ちがない交ぜになって複雑でした。そこで1年半リウマトレックスを飲み続け、平成18年5月別のM整形外科でリウマトレックス、リマチル、アザルフィジンを飲み、ステロイド注射を8本も打ちました。この時56歳。リウマチを治そうという気力もなく、ただ漫然と薬を飲み、注射をしました。一回の注射ですぐに手首の腫れが引いたその快感はまさしく麻薬でした。松本先生からよく「どうしてM整形外科で何度も注射なのか。」と尋ねられました。生きようという気力は最低、ステロイドに対する恐怖心は全く頭からなくなっている状態でした。この残念

な2年間を経て、松本先生にお会いしました。肩の痛みが起こって3年が経っていました。

こうして振り返ってみますと、お灸をたくさんしていた時期はリンパ球の数値が高いということが改めて判りました。完治に向かってコツコツお灸をし、楽しい事を考え、気持ちよく暮らしていきたいと思っています。